Information

令和4年5月27日

インフラ・マネジメント研究センター長の久田真教授が 次期 SIP のプログラムディレクター(PD)候補に 選出されました

本日、内閣府から発表された「**令和 5 年度から実施を予定する次期 SIP: スマートインフラマネジメントシステムの構築**」のプログラムディレクター(PD)候補に、インフラ・マネジメント研究センターの久田真センター長が選出されました。この PD 候補者は、各課題候補の検討タスクフォースの座長として、令和 4 年度に実施するフィージビリティスタディ(FS)をリードします。

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)は、内閣府が平成26年に創設し、総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)の司令塔機能を生かし府省横断的な研究開発に取り組んでいるものです。令和5年度からの次期SIPについて、日本が目指す将来像(Society5.0)の実現に向けた15の課題候補が決定し、「スマートインフラマネジメントシステムの構築」はそのプログラムテーマのひとつです。



久田真 センター長

<本人コメント>

インフラ・マネジメント研究センターがこれまで取り組んできた、産学官の関係機関が参画する技術開発から社会実装までを見据えた研究開発の取り組み等が評価されたと思う。

これからは、SIPを通じて、建設分野と関連する分野における「誰一人取り残さない」未来社会の基盤となるスマートインフラを実現するマネジメントシステムを構築し、持続的な実装体制を整備することが、日本の経済成長の観点からも急務であると考えています。

▶内閣府ホームページ(https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20220527sip_pd.html)

【問い合わせ先】

東北大学大学院工学研究科インフラ·マネジメント研究センター 電話 022-721-5503

E-mail sipoffice-imc@grp.tohoku.ac.jp